

## SGHテーマ別研修 in シンガポール!

11月23日(木)、国際科修学旅行4日目の午前中には、SGHテーマ別研修を実施しました。医療班・平和班・水班の生徒たちが、それぞれテーマに応じて、充実したフィールドワークを行いました。

### ① 医療班：病院博物館&リトルインディア

医療班は、シンガポール総合病院内にある「病院博物館」を訪問しました。ここでは、退職された看護師であるNancyさんが、ご自身の経験と病院の歴史について説明してくださいました。博物館内には、古い医療機器や歴史を説明した映像などがあり、生徒たちは英語での説明を一生懸命読み取っていました。ちなみに、シンガポール総合病院は、英語でSingapore General Hospitalといい、略してSGHになり、運命を感じました。病院博物館訪問後、リトルインディアに移動し、医療に関係するものを散策してまわりました。



### ② 平和班：日本占領時期死難人民記念碑&シンガポール国立博物館

平和班は、The Memorial to the Civilian Victims of the Japanese Occupation (日本占領時期死難人民記念碑)と国立博物館を訪問しました。記念碑では、シンガポールが日本に占領されている時に、戦争の犠牲となった方々を偲びました。また、国立博物館では、シンガポールの歴史を学びました。イギリスや日本等が占領していた時代を経て、マレーシアからの独立に至るまでの歴史の展示物を熱心に見ていました。イギリスと日本の占領時の資料については、特に熱心に見学し、展示物について友人と話をしていました。一つ一つの展示を丁寧に見ていたため、80分の見学では時間が足りず「もっとしっかりと見たい。」という生徒が多くいました。午前中だけの訪問でしたが、生徒は平和や命の尊さについてしっかりと考えることができた研修となりました。



### ③ 水 班：ニューウォーター&マリーナバレージ

水班は、NEWater Visitor Centre を訪問しました。シンガポールは水需要の60%を降水とマレーシアからの輸入に頼っています。水の自給率の向上への対策として、NEWater(新生水)と呼ばれる再生水の普及が図られています。現在、シンガポール全体の水需要の30%をまかない、その割合が2060年までに55%になるように目標とされています。廃水から3段階(精密ろ過、逆浸透膜を用いた膜処理、紫外線処理)の水処理とアルカリ化学物質の追加の過程を得てNEWater(新生水)になるまでを学ぶことができました。世界先端の水処理技術に触れることによって、水不足が世界的に深刻な問題であることを認識とするよい機会となりました。

